

# 豊岡市教育研修センターだより



豊岡市教育委員会 R6(2024).10.9

No. 11

豊岡市のホームページにもアップしています。

豊岡市 HP→上段「暮らし」→右下「教育・学校」→「教育研修センター」へ

## 読書活動を取り入れた指導の充実に係る研修会(港中)

2024年度の豊岡市児童生徒質問において、「1日あたり30分以上読書をする児童生徒の割合」は、約30%となっています。豊岡市立港中学校で、先生方の「読書」がより身近になればという思いから、充実した研修が行われました。

広島大学の山元隆春先生に講義をいただきました。



**リテラチャー・サークル**…3人から4人のチームを作り、協働で、メンバー一人一人の読みを広げたり、深めたりして、本や文章の意味をつくり出す、理解の仕方を学ぶ。

- 1 各グループにそれぞれ短編の本を配付して、黙読する。(15分)
- 2 各グループで、話し合いの「話題」を決定し、その「話題」に沿って話し合いをする。(15分)
- 3 話し合いの後に自分の考えや意見が変わったか?変わらなかったか?を振り返り、アウトプットする。(10分)
- 4 今回の話し合い全般について、振り返りアウトプットする。(10分) **ぜひチャレンジを!**

### 【話題】の例

- **本や文章とのつながりをつくるための話題**(何か思い出したことは? 友達になれそうな登場人物は?)
- **本や文章の中の重要な要素を確認するための話題**(この本で一番びっくりしたところは? 大切だと思うところは?)
- **本や文章についての自分の感じ方を表現するための話題**(登場人物について感じたことは?一番のお気に入り?)
- **作者の工夫に注意をむけるための話題**(作者は、なぜこのように書いたのか?作者へ質問するとしたら?)

## ふるさと教育に係る研修会(竹野小)

2024年度の豊岡市児童生徒質問において、「自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表する等の学習活動に取り組んでいる児童生徒の割合」は、約85%となっています。豊岡市立竹野小学校で、先生方の子どもたちとより探究的な学びが共有できたらという思いから、充実した研修が行われました。

武庫川女子大学の酒井達哉先生に講義をいただきました。



### 探究的な学習における学習の姿…課題の設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現×2~3

- 探究的な視点からの課題の見直し ●探究的な視点からの活動の見直し ●教科等との関連 ●社会貢献意識の醸成
- 地域の物的・人的資源の活用 ●異学年・校種間連携の可能性 ●自己評価、他者評価、外部評価の工夫
- ・ **子どもにとっての地域教材の意義**…子ども自身が手に入れることができ、何度もその場所に行くことができる。対象とのつながりを生む。具体的であり、自らそれを足場として抽象化を図ることができる。地域に対する見方が変化する。
- ・ **教員にとっての地域教材の意義**…教員の創造性が発揮され、授業デザイン力が高まる。開発のためのフィールドワークが教員としての視野を広げる。教員自身が地域を知る機会となる。

**思考ツールを活用する際のチェックポイント**…必然性、整合性、簡便性、充足性 **今一度確認を!**